

参加する◎体験してわかる参加型学習◎

【エピソード】

「花子さんは、高校 3 年生です。学校を卒業した後、働くことに決めました。これからいくつもの会社を訪問して、面接を受けなければいけません。今日は、第一希望の〇〇商事に行き、受付で申し込みの用紙をもらってきました。そこには、〇〇商事『社用紙』と書いてありました。来週の面接では、その用紙の内容にそって、いろいろと質問されるというのです。花子さんが家に帰り回答しはじめた質問事項は、全部で 35 問もありました。」

谷口先生の学級で始まった人権学習の設定です。谷口先生は中学校の数学の担当ですが、特別活動の時間は、自分の学級で人権学習を実施します。谷口先生は、先日自分が体験したワークショップの研修を授業に取り入れてみよう、冒頭ぼうとうのような設定で学習をはじめたのです。谷口先生はどちらかという人権学習をすすめるのが得意ではありませんが、そのとき体験したファシリテーターの研修の進め方に興味をもち、自分の学年でもやってみようと思いました。

生徒たちは、花子さんになったつもりで、35 の質問に「1、書きたくない 2、少し書きたくない 3、どちらでもいい 4、別にかまわない 5、もちろん書く」を記入します。記入し終わったら、次の段階として、第三者の立場に立ってよく考えて、その会社に必要な人材を採用するために、はたして、そのことを聞くことが必要かどうかを考えます。同じ質問に、今度は「1、必要ない 2、ほとんど必要ない 3、どちらとも言えない 4、まあまあ必要だ 5、必要だ」を記入します。

谷口先生は、作業を終えた生徒たちに、今から 20 年ほど前までは、会社ごとにこのような「社用紙」を作って提出させていたことを説明しました。現在ではこのような質問用紙は、使ってはならないことになっています。なぜなら、このような質問用紙のために、せっかくやる気があるのに不利になったり、能力はあるのに不採用になったりする人がたくさんいたからです。そう説明しました。

授業では、ある就職差別事件をきっかけに、政府が労働省と文部省を中心にプロジェクト・チームを作って、このような問題を解決するために、「統一用紙」を作る段階へとすすみます。そして、このプロジェクト・チームに全国から高校生が参加することになり、なんと！花子さんが大阪代表として、そのメンバーに加わることになるという設定です。「まかしとき！」と、花子さんはやる気まんまんになります。

プロジェクト・チームの会議室では、全国から集まった 40 名のメンバーにより、「社用紙」のたくさんの質問の中から、不必要なものを省く作業が始まろうとしています。ぜひとも必要なものだけ、15 個に絞って、それ以外は廃止することになりました。ミーティングが始まる前に、あなたのプランを考えておかなければなりません。

プロジェクト・チームには、もう一人ジャッキー・チャンという男性が招かれる設定になっています。アメリカで暮らしている中国人です。かれは、このプロジェクトのために、海外の企業が就職の時に何を参考にするのか、調査を依頼されていました。ジャッキーが入手した〇〇商事がアメリカで人を採用するときに使っている履歴書は、とってもシンプルなのです。同じ会社なのに、日本で採用するときのように、家のことを書かせたりしません。



全国から集まった高校生たちは、おどろくことばかりです。日本企業が女性や現地の従業員に対して、採用や昇進のときに、差別的な扱いをしていることが大きな問題になっているということもはじめて知りました。そして、再度、15項目では、まだまだ多すぎる。採用に必要な質問項目は、10項目を残すだけでよい。ほかの不必要なものは、すべて省こうということになりました。

さて、次の授業は、いよいよ最終ミーティングです。全国の中学・高校生が就職の時に使う「統一用紙」の原案を決定するのです。4人グループでまとまって、意見を交流し、グループの最終案を発表してください。自分の原案を他の人のものと比較検討しながら、グループとしての報告文書を作ります。話し合っ、まとめる項目は次の4点です。谷口先生の指示も、だんだんのってきました。

- ①最終原案…何を残したのか？
- ②残したものの特徴は何か？
- ③悩んだのはどれか？
- ④悩んだものについて…なぜ、どんな点で悩んだのか？

各グループが工夫した模造紙を前に報告が続き、谷口先生のはじめてのワークショップはもうすぐ終わります。

対話の ために

- 参加体験型学習（ワークショップ）を今まで体験したことがありますか。
あるとすれば、どのようなワークショップでしたか。
- 谷口先生の学年で行われたワークショップの流れを読んで、どんなことを感じましたか。

谷口先生のひとりごと

今まで、教科の学習でも、人権学習でも、ぼくはどちらかというと説明することを中心一方的な一斉授業の形が多かったんです。だから、今回はじめて双方向のコミュニケーションを生かした参加・体験型学習を授業に取り入れるときは、ドキドキしました。ほんとうにうまくいくのかな、生徒たちの反応はどうだろうと、心配なことばかりでした。でも、自分自身が体験したワークショップで、自然に自分が感じたことをしゃべれたし、他の参加者の話をゆっくり聞いて考えることができた。その感覚が、絶対この形式でやってみたい、やればできるという力の源になったと思います。

実際、生徒たちの反応もよかったんです。いつもなら、何人かは下を向いたままで、こちらが一方的に語りかけるというパターンだったんですが、どの場面でも、生徒たちは真剣に考え、グループで話し合っていました。「先生、次の時間はどうするの？」「社用紙見てたら腹立ってくるわ」などなど、授業のことで生徒から反応があったことがうれしかったんです。残念ながら、日ごろはあまりそんなことはありませんからね。

今回は、人権学習ということでワークショップを行いました。これからは、ワークショップの手法をいろんなところに応用していこうかなと思っています。もちろん、そのためには自分が参加者としてワークショップを体験することが大切だと思うんです。ぼくの第1回目のワークショップは、不十分なところもあったけれど、やっぱり新しいことにチャレンジできて良かった。また、生徒たちの表情や発言に多くのことを学ぶことができた、そんな貴重な体験でした。



〇〇商事 社用紙

| ※ | 質問項目 | あなたは？ | はたして必要？ |
|---|------------------------------------|-----------|-----------|
| | 1. あなたの名前 | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 2. あなたの生年月日 | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 3. あなたの国籍・本籍地 | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 4. あなたの友人の住所 | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 5. あなたが志望した理由 | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 6. あなたの所属していたクラブ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 7. あなたが尊敬している人物 | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 8. あなたの短所 | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 9. あなたの信じている宗教 | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 10. 保護者の名前 | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 11. 保護者の勤めている会社名 | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 12. あなたの家の広さは、たたみ何畳分？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 13. 保護者の健康状態はどうか？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 14. 家で読んでいる新聞の名前 | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 15. 家は持ち家か、借家か？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 16. 今の家に何年住んでいるか？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 17. 近所で親しい家の人の名前は？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 18. 家や土地などの財産の総額は？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 19. 保護者の年齢は？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 20. 保護者と本人の関係は？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 21. あなたの家族構成は？誰と住んでいるの？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 22. あなたの性別は？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 23. あなたの希望の職種は何？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 24. 保護者の年収はいくら？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 25. あなたが持っている資格は？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 26. あなたの趣味・特技は？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 27. 保護者の最終学歴は？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 28. あなたの友人の学校・会社はどこ？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 29. 支持している政党名は？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 30. あなたの学歴・職歴は？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 31. あなたの現住所は？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 32. 家族の信じている宗教は？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 33. 保護者の勤務年数は？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 34. 保護者が死亡していたら・・・ それはいつ？ 原因は何？ | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |
| | 35. 最寄りの駅からの地図 | 1-2-3-4-5 | 1-2-3-4-5 |

【ミニ解説】

◎統一応募書類（統一用紙）

「高校卒業生の就職にあたって学校は、人種、信条、家族の職業・収入、家庭の環境など差別につながると思われる資料を、いっさい提供しません。生徒個人の能力および適性・意欲だけをみて採用してください」

これは、大阪府教育委員会、大阪府商工労働部などの連名で、各事業所に送られる文書の趣旨です。それまで事業所側がつくった「社用紙」には、本籍地の明記など人権やプライバシーの侵害につながる内容がありました。そこで昭和 46(1971)年度から、関係者が協議してつくった「近畿高等学校統一用紙」を使用し、^{こせきとうほん}戸籍謄本・^{しやうほん}抄本や住民票は提出させない、面接試験では差別につながる事柄について質問しないなどを各事業所に求めて、すべての生徒に公平な職業選択の機会が保障されるよう取り組んできました。

平成 8(1996)年度、この統一用紙は中学校卒業生用の書類とともに改定されました。新しい統一用紙では、本人の能力や適性に関係のない事項等の記載欄がさらに削除されました。平成 17(2005)年度、平成 19(2007)年度、平成 28(2016)年度などたびたび改定され、その趣旨が一層徹底されています。

参加
する

【キーワード】

■ワークショップ

みんなで意見交換や共同作業をおこない進める、体験的で参加型の学習法の組み立てによる研修法です。講義や指導中心の研修会ではなく、参加者が積極的に他者の意見や発表から「気づき」「学びあい」最後に「ふりかえり」をする、そんなプロセスとしての学びを大切にします。

■ファシリテーター

ワークショップの進行役。その会を「^{うなが}促す人、^{そくしん}促進する人」という意味です。

参加
する

からひろげていくと

Aさんは47歳の女性。友人のBさんと一緒にCAPプログラムの指導者養成講座を受け、市内のグループの一員として、小学校やPTAの研修に出かけ、すべての子どもが持っている人権を、メンバーそれぞれが演じるロールプレイで、子どもたちや保護者に伝えています。プログラムでは、子どもたち自身が参加したり、発言したりする場面をたくさんつくります。

Aさんは、二人の子どもを育てる過程で、誰にも自分の気持ちがわかってもらえず、つらい時期がありました。そんなときほど、子どもにもつらく当たってしまい、心を傷つけてしまったのではないかと考えています。二人とも、もう成人になりましたが、自分なりに何かできることはないかと、現在の活動に参加するようになりました。教師と生徒という関係や親と子という関係ではなく、地域の大人が子どもたちに「嫌なことははっきりNOと伝える方がいいんだよ」「こわいときは逃げていいんだよ」「誰かに話すことが大事なんだよ」と言う方が、子どもたちが受け入れやすいのではないかと感じています。

